

イーマ2月（第145回）例会のご案内

主催：特定非営利活動法人アイエイチエムエージャパン（イーマ） 理事長 根木 孝朗

冬の訪れを告げる「木枯らし1号」が東京で観測されなかったと12月1日にニュースが流れていましたが、今年は暖冬で平成が終わろうとしています。

12月7日の例会では鍋島俊隆先生から薬と安全に安心して付き合っゆくお話を伺いました。さて、今日我国は超高齢化ともあいまって欧米に比べがんが増え続け、更には死の三大疾病、心臓病・脳梗塞・がんの中でがんがトップを走り続けております。今はがんの早期発見を遺伝子診断手法で、治療法は免疫細胞活性化療法や医薬品オプジーボの“高コスト”で効果の薄い手法等が最先端と言われておりますが、今回のセミナーではそれを乗り越える効果的で安価な手法をお伝えします。小林先生は国立がんセンターや京大大学院、東大大学院を経てがんの基礎的研究を行ってきました。また、ホリスティック医療及びがんの告知を日本で初めて推進した医師でもあります。先生が特許をお持ちのTMCA（腫瘍マーカー総合解析法）とは複数の血液腫瘍マーカーを組み合わせることによって80%以上の感受性を達成しており、日本で増え続けるがん患者の超早期発見・再発予知予防に大きな助けとなる手法です。生涯がんにはなりたくない方、がん再発防止を強く希望する方、治療判定したい方（現在の治療に迷っている方）のご参加をお待ちしています。会場の都合もございますので50名限定とさせていただきます。

日時： 2019年 2月15日(金曜日) 18:00~20:00

テーマ： ーもうがんは恐くないー

驚異的な超早期がん発見法と最も効果的な治療法

講師： 小林常雄先生 医学博士（医）社団誠敬会クリニック銀座



【プロフィール】

1944年鳥取県生まれ。1963年鳥取大学医学部入学。卒後は国立がんセンターに内地留学、その後京大、東大の大学院に学ぶ。1978年東京大学大学院で医学博士取得。アリゾナ生物研究所名誉議長、生体エネルギー統合医療アカデミー国際会議役員。2016年9月にはアメリカ統合医療学会にて長年の功績や実績が認められ「アチーブメント賞」を受賞、医師に教育講演を行った。米国がんセンター、米国各大学との共同研究を進め、更なる患者さんに害を与えない治療向上を目指している。

【著書】「ついにわかった癌予防の実際」（主婦の友社）

「癌、温熱治療法の科学」（東洋医学舎）「告知してこそがんは治る」（現代書林）

「免疫力を高めるコツ 50 細菌、ウイルス、ガンをはねつける強い体」（同文書院）ほか多数

【会場】 四谷地域センター11階 集会室2・3

（東京都新宿区内藤町87）地下鉄丸の内線「新宿御苑前」駅徒歩5分
出口2番

【参加費】 2,000円（懇親会は希望者実費）

【参加申込み】 HPより <http://ihma.or.jp>
メール honbu@ihma.or.jp FAX03-5225-1522 まで



ご氏名： _____（紹介者）

ご連絡先：電話または FAX

【例会】 ご参加（ ）名 _____ メールアドレス _____